

## 第2回 四万十市文化複合施設整備検討委員会協議内容及び結果

【日 時】 平成30年9月28日（金）19:00～21:00

【場 所】 四万十市立中央公民館2階 研修室I

【出席者】（委 員）13名（事務局）6名

### 【議 事】

- 1 前回議事録の確認
- 2 第2回市民ワークショップの報告
- 3 基本計画（素案）について

### 【協議内容及び結果（要旨）】

- 1 前回議事録の確認  
事務局より、第1回検討委員会で協議した内容について概要説明。
- 2 第2回市民ワークショップの報告  
事務局より、「第2回ワークショップかわら版」にて報告。  
第1回ワークショップでは若年層の参加がなく、前回委員会にて若年層の意見を吸い上げるべきとの指摘があったが、今回は高校生3名の参加があった。
- 3 基本計画（素案）について
  - (1) 基本計画全体構成の確認（目次）
  - (2) 基本計画の第1章・第2章（修正部分案）の確認  
(1)(2)について、事務局より、前回協議内容の確認と前回出された意見を踏まえ修正した箇所について説明。
  - (3) 基本計画の第3～5章（部分案）について  
事務局より、前回示した施設の使命を振り返るとともに、その実現に向けた「事業の考え方（案）」について説明。  
また、「施設計画（案）」、「管理運営の考え方（案）」について説明。

### 【協議結果】

第3章「事業の考え方」・・・「施設提供事業」、「創造支援事業」、「参加・体験・育成事業」、「鑑賞・普及事業」、「交流・情報事業」、「生涯学習事業」の6つの柱をもとに事業を実施していく。事業採算性を考えながら、今年度、来年度の中で、優

先順位を整理していく必要がある。

第4章「施設計画」・・・「ホール機能」、「創造支援機能」、「展示機能」、「交流機能」、「管理機能、その他」が必要である。具体的な諸室の規模等に関しては次回協議する。

第5章「管理運営の考え方」・・・①専門性の確保、②創造性を発揮できる柔軟で利便性の高い管理運営、③開かれた管理運営と評価の仕組みづくり、④市民が主体的に運営に関わる仕組みづくり、を基本方針とする。収支計画の考え方については、次回も引き続き協議する。

#### 【その他全体を通しての意見等】

- (1) 事業の考え方としては素晴らしいが、本当に出来るのか不安になる。もっとの的を絞って、優先度や時系列的な計画でもよいのではないか。  
→（事務局回答）開館日から全てを実現するのは無理だと考えている。成長していくプロセスがあると考えている。時間軸の中で、運営組織の体力、知見、チームワークをつくっていくことも必要であり、それを踏まえた表現を考えたい。
- (2) 今後、どのような形で事業を行うのか（施設が主体で行うのか、市民団体が主催する事業を施設が支援することで質を底上げしていくのか）を考えることが、次のステップでは重要だと考える。  
→（事務局回答）プロセス上、来年度以降に予定される管理運営計画策定の中で検討することになる。
- (3) 6つの事業全てが出来れば素晴らしいとは思いますが、目玉という意味では（5）交流・情報事業の「居場所となる」という部分が充実するとよい。
- (4) 3つの施設がひとつになり、規模も大きくなる。ホールや色々な室ができる中で、四万十市のシンボルになるものが何かひとつできればよい。大ホールが主体となると思う。
- (5) これから50年使う施設は新しい世代のもの。ホールに人が集まって何かを観る、音楽を聴くハレの場と、日常的に親しみやすい、誰が来ても賑わいがあるケの場が共存することをひとつの目玉にしてほしい。
- (6) 具体的に何を行うのか、どう表現していくか、基本計画だけでは示しきれない部分もある。事務局には、他施設の事例や写真を示すなど、イメージを伝えるうえで何か表現を工夫出来ないか検討していく必要がある。  
→（事務局回答）出された意見を可能な限り反映できるような書きぶりを考える。また、事業の考え方についても、書きぶりとともに、多少はイメージができるような写真やイメージを載せて、楽しそうだなと思えるようなページづくりも工夫する。